「デジタル食育」の主な発信方法

Webサイトといった基本的な情報発信ツールから、交流や投稿のできる拡散力のあるSNS、そして動画配信サービスやライブ配信など様々な手段があります。ここでご紹介した発信方法は一例です。各団体の持つ課題や活動内容によって「デジタル食育」の手法は異なってきますが、優先順位を決めてできるところから展開していきましょう。

発信方法	情報発信方法	主なサービス
Webサイト	**団体等の顔として基本的な情報を掲載** インターネット上に多くの情報を載せることができ、基本的な情報発信を行える	ホームページ　ブログ など
SNS social networking serviceの略	**趣旨に賛同する人同士のコミュニティを作り多くの人と情報の受発信ができる** 写真や動画、文章等を公開できるほか、コミュニティ内でメッセージのやり取りなどで交流を深めることもできる	Instagram　Facebook　Twitter　TikTok など
動画配信	**動画共有サービスを通じて事前に収録した動画を配信できる** 時間や場所の制限を受けず、視聴者の好きなタイミングで動画を視聴できる	YouTube など
ライブ配信	**リアルタイムの配信** 多くの人が同時にライブでイベントに参加できる → **完全オンライン配信** オンラインだけで完結する配信 → **ハイブリッド配信** 会場でイベントを実施しながらその様子を配信	Zoom　Skype　Teams　Webex など

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

「オンライン食育イベント」制作フローチャート

オンライン食育イベントは当日の運営だけでなく、企画から開催まで数多くの準備を行うべき段階があります。企画から事後フォローまでの全体の流れと行うべきタスクを事前に把握し、漏れがないよう準備を進めましょう。

段　階		項　目	実施内容
Plan（計画）	【約2～3ヶ月前】① 企画	●開催概要を企画	●予算に応じた企画の作成 ●参加団体や主催団体を決め、主導権を持つリーダー役を選定する ●実施目的、ターゲットを明確にしてテーマ、発信内容を設定 ●開催日時の決定、(会場が必要な場合)会場の下見を行い決定・予約 ●出演者・講師等の選定・交渉・決定
	【約１～2ヶ月前】② 準備	●配信サービス・機材の決定 ●進行概要や運営方法の検討・準備	●配信手法、使用するサービスの決定、使用機材の準備 ●運営方法の検討および実施運営、参加者対応などのスタッフの役割分担 ●進行内容をまとめた進行表や運営マニュアルの作成 ●告知内容や参加方法を検討し告知ページを作成 ●入金チェックの体制づくりや入金方法の検討(参加費有料の場合)
	【約1ヶ月前】③ 告知	●アプローチ方法を決定 ●告知集客、参加者対応	●ホームページなどに告知原稿を掲載し参加募集を開始 ●申込締切～抽選作業～参加者に案内メールを送付 ●参加者のITリテラシーに合わせて事務局対応。事前体験会なども検討 ●リマインドメールの送付（例：1週間前・3日前・前日など） ●入金チェック(参加費有料の場合)
Do（実行）	【当日】④ 配信	●進行表や運営マニュアルに従い実施運営	●会場設営、機材セッティング、リハーサル ●事務局による参加者対応、チャット活用など ●役割分担に従い実施運営 出演者、進行管理、参加者対応、オンライン会議システムのホスト、カメラマンなど
Check（評価）Act（改善）	【実施後】⑤ 事後フォロー	●活動の成果を検証し次のステップへ	●オンライン会議システムの機能を使用した録画や記録を作成 ●参加者へのフォローアップメールを送付 ●出演者・講師への謝礼の支払い ●参加者へのアンケートを行い、評価(楽しさ・理解度・満足度等)を聞く ●食育活動の成果を検証し、次回の活動へと反映させる

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

「オンライン食育イベント」実証体験レポート

デジタル技術を活用した「オンライン食育イベント」の実証として、３団体の企画協力によりオンライン親子料理教室を企画・実施。配信当日はオンライン会議システム(今回の実証ではZoom)を使用して、キッチンスタジオおよび農園から配信を行った。

■企画協力：
・キユーピー株式会社
・ソムリエファーム ～わたなべさんちの野菜たち～
・特定非営利活動法人日本成人病予防協会
※オブザーバーとしてパパ料理研究家の滝村雅晴氏に協力を要請

■スケジュール：
・約2ヶ月前（12/15）第１回企画ミーティング(開催概要決定)
・約1ヶ月前（1/6）第２回企画ミーティング(告知開始)
・約3週間前（1/20）応募締め切り
・10日前（2/1）第３回企画ミーティング(準備確認)
・2日前（2/9）事前リハーサル
・当日（2/11）配信

■タイトル：
旬の野菜で
サンドイッチとポトフを作ろう！
～オンライン親子クッキング～

■使用機材：
キユーピー「マヨテラス」側：
　スマートフォン2台(料理教室配信用)・PC3台(ホスト用)
ソムリエファーム側：
　スマートフォン1台(農園中継配信用)

■対象：
6歳以上のお子様と保護者
※お子様の人数については制限なし

■告知方法：
企画協力3団体のホームページ、ブログ、SNSなどで告知

■応募方法：
オンライン入力フォーム(今回の実証ではグーグルフォームを使用)に記入の上応募

■定員・応募数：
定員10組のところ13組応募
（３団体にて協議の上、全員当選とした）→当日参加は12組

■参加費：
無料(発送する食材以外は各自ご準備いただく)

■配信日時：
2022年２月11日（金）10:30～12:30

■配信場所：
キユーピー「マヨテラス」キッチンスタジオ(東京都調布市)
ソムリエファーム(千葉県山武市)

配信録画(全体 約1時間51分) https://youtu.be/JqX_nSTno-s
オンライン親子クッキング全体の記録動画です。

今後URL・QRコードに差し替え

全体

配信録画(前編 約22分) https://youtu.be/Bx8vVXVmvf4
「施設紹介」および「ソムリエファーム」からの中継部分です。

配信録画(後編 約1時間29分) https://youtu.be/GsT19Wq-Imw
料理教室の実施部分の動画です。

前編　後編

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

「オンライン食育イベント」実証体験レポート

企画準備段階

- **ライブ配信手法の決定、使用するサービスの決定**
- **機材準備、運営方法の検討および役割分担**
- **進行内容をまとめた進行表や運営マニュアルの作成**
- **告知内容や参加方法を検討し告知ページを作成**

企画協力：
・キユーピー株式会社
・ソムリエファーム
～わたなべさんちの野菜たち～
・特定非営利活動法人日本成人病予防協会
※５０音順・敬称略

実証として親子オンライン料理教室を企画・実施。キユーピーは全体統括・会場手配を行い、日本成人病予防協会はレシピ開発と料理教室の講師を担当、ソムリエファーム～わたなべさんちの野菜たち～は旬の野菜の提供を行った。

開催概要の検討

課題・工夫した点等：

★オンライン会議システムを選定するポイントとして**参加者の利便性を考慮し、利用率の高いシステムとしてZoomを採用**した。

★農園にて使用できそうな野菜を検討しながら、その場で試作等を行い使用する野菜を決定。**リモートだけではコミュニケーションが薄くなるので、対面で会話をすることが重要**と感じた。

レシピ開発

課題・工夫した点等：

★「レシピの食材選び」や「告知用写真撮影」も兼ねてソムリエファームにて試作。農園で**野菜の試食や収穫を行うことで、色合いや味の確認**ができた。

★2回目の試作としてZoom配信形式での試作を実施。野菜の切り方・味付けも本番を想定して行い、**料理時間の測定も行えた。また、オンラインで自分の手元が参加者からどう見えるかを確認**した。

運営計画

課題・工夫した点等：

★**子供が参加するため、実施時間は1時間半～2時間が上限**だと考えプログラムを構成した。

★Zoomで共同ホスト(注)を設定し、**ホスト側のオペレーションを参加者対応と出演者運営(スポットライトなど)に分けて2名体制で対応**し、操作が1名に集中しないようにした。
共同ホストを設定することで、Zoomのホスト側がダウンするリスクを回避する効果もあった。

（注）オンライン会議システムのホストが他のユーザーとホスト権限を共有することで、参加者の管理や録画など、ミーティングの管理を共同で行うことができる機能。

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします

「オンライン食育イベント」実証体験レポート

告知段階

- ●ホームページなどに告知原稿を掲載し参加募集を開始
- ●申込締切～抽選作業～参加者に案内メールを送付
- ●参加者のリテラシーに合わせて事務局対応。
- ●リマインドメール送付（1週間前・3日前・前日など）

企画協力：
・キユーピー株式会社
・ソムリエファーム
～わたなべさんちの野菜たち～
・特定非営利活動法人日本成人病予防協会
※５０音順・敬称略

レシピ開発した際に写真撮影を行い、告知原稿を作成し各団体にて告知活動を行った。告知チラシにQRコードを掲載しグーグルフォームにより作成した応募フォームに誘導して参加希望者により必要事項を記入していただいた。

告知内容・手法

課題・工夫した点等：
★見た人への**インパクトを考え、野菜の画像を大きく使ったビジュアルを作成**し、3団体にて告知を行った

★食育の取組を子供から大人まで**わかりやすく伝えるため、食育ピクトグラムを使用**した。

告知手法
◆キユーピー：オフィシャルブログ
◆ソムリエファーム：
ホームページ・LINE・来訪者に告知
◆日本成人病予防協会：
Instagram・Twitter

応募方法の検討

課題・工夫した点等：
★**初心者でも使いやすいオンライン入力フォーム(グーグルフォーム)を活用**して応募フォームを作成した。今回は定員10組のため手作業でリスト作成を行った。

■申込ページ
(グーグルフォームにより作成)

事務局運営について

課題・工夫した点等：
★個人情報の取得方針も異なる**複数の団体が協力しながら実施するため、個人情報の取扱い方法の意思決定が難しかった。**事務局は外部に設置し個人情報を取得しない体制とした。

★**参加者への野菜の発送業務があり、事前に配送希望日時を聞いていた**が、実施前日の降雪予報の影響で宅配便の遅延することも考慮し、急遽、食材を届けるタイミングを早める調整を行った。

各章のタイトルをクリックすると
その章の最初のページにジャンプします